

指導の手引き 19. 動物(2)

koara	-a- にアクセント。	コアラ
英語らしい音を出すコツ	最初の ko- は唇を丸めて「コウ」と発音し、次の a を強く発音する。語尾の -la は l の音を意識して舌先を上歯に付けて発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	オーストラリア (Australia : オーストレイリア) に特有の有袋類 (marsupial : マースピアル) Koaras sleep in the tree. のように言えば小学生にも理解できるだろう。	

bear		クマ
英語らしい音を出すコツ	最初の b は息をためて思い切り強く発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	最も大きなものは polar bear ホッキョクグマ、マレーグマが最小。日本にはツキノワグマとヒグマ。	

panda	最初の pan- にアクセント。	パンダ
英語らしい音を出すコツ	pan- の a は、cat や hat と同じ、「エ」と「ア」の中間の音なので、「ペアンダ」のつもりで発音するのが原音に近い。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	写真は giant panda である。Giant panda は近年のDNA分析の結果、クマ科として分類されるようになった。	

gorilla	真ん中の -ril- にアクセント。	ゴリラ
英語らしい音を出すコツ	r と l の使い分けに注意する。Rは、舌先をどこにも触れず、l は舌先を上歯の裏にしっかり付ける。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	西アフリカ (West Africa 最初のAにアクセント) に生息する類人猿 (ape : 尾がない) 。尾のあるサル (monkey) とは区別される。	

lion	最初の li- にアクセント。	ライオン
英語らしい音を出すコツ	最初の l は、舌先を上歯の裏にしっかり付けて発音する。「ライアン」に近い音。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	主にアフリカのサハラ以南の草原に生息する。雄はたてがみ (mane メイン) を持つ。ライオンの群れを pride (プライド) と呼ぶ。	

tiger	最初の ti - にアクセント。	トラ
英語らしい音を出すコツ	語尾を「ガー」と長く伸ばしすぎないこと。「タイグア」のように聞こえて構わない。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	シベリア (Siberia サイベリア) からアジア (Asia エイジア) にかけて生息する。ネコ科最大の動物。	

elephant	最初の e- にアクセント。	ゾウ
英語らしい音を出すコツ	l は舌先を上歯の裏にしっかり付ける。-ph は f の音なので、上歯を下唇に当てる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	ゾウの牙は tusk と言う。鼻は trunk だが、nose と言っても理解される。	